

## 令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書(選定校記載用)

(校園コード 631368 )

※校園コードを入力してください。

学校名 香簾小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 395,720 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

平成30年度の全国学力・学習状況調査では、国語は大阪市平均と近い数値であったが、算数は大阪市や全国の平均と比べて5ポイント近く差があった。また、理科も大阪市や全国の平均を下回っていた。

家庭での学習習慣が定着しておらず、国語では「書くこと」が大阪市や全国の平均を下回っていた。よって、音読学習による基礎学力の定着を図り、目的に応じて資料を読むことで自分の考えをまとめて書けるよう指導したい。算数においては数と計算や図形など基礎学力の定着を図るために学習が必要である。

また、小学校経年調査から国語と算数だけでなく理科と社会を含めた標準化得点が下降傾向にあり、全体的な学力の底上げが必要である。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

①平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

②平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。

③平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

**【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】**

習熟度別少人数指導などの学習形態を活用し、児童一人ひとりの能力や理解・習熟の程度に応じて、基礎基本の定着を図る学習や発展的な学習を行い、個々の力をそれぞれ伸ばす。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

児童アンケートで「わかりやすくなった」「どちらかというとわかりやすくなかった」という回答を78%以上にする。

小学校学力経年調査の標準化得点を昨年度より向上させる。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き	取り組み	取り組み・活用						
効果検証			単元テスト		経年調査		取組実施後テスト		

## 取組

(校園コード 631368 )  
学校名 香齋小学校

### 7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ①国語・算数において家庭学習の定着と基礎学力の定着を図るため夏季休業中にあらたに復習ドリルを活用する。 ②日々の授業の中で、音読教材（音読教材・フラッシュカード）を活用し、暗記力など基礎学力の定着を図るとともに、目的に応じて資料を読みとる力と自分の考えをまとめて書けるようにさせたい。 ③国語力の向上を図るため百人一首を教材として活用する。	委員会使用欄	達成
予算内訳		
<p>・夏季休業中の復習ドリルの購入 11-1 「なつはともだち」 @310×353名=109,430円 ・音読教材(話す、聞くスキルアップ学習)の購入 11-1 「話す・聞くスキル」 @330×353名=116,490円 ・フラッシュカードの購入 11-1 四字熟語フラッシュカード @3,700×2セット=7,400円 ことわざフラッシュカード @3,700×2セット=7,400円 都道府県フラッシュカード @4,200×2セット=8,400円 歴史人物フラッシュカード @4,200×2セット=8,400円 歴史年号フラッシュカード @4,200×2セット=8,400円 国名と位置フラッシュカード @4,200×2セット=8,400円 星座・月フラッシュカード @3,000×2セット=6,000円 人の体フラッシュカード @2,500×2セット=5,000円 昆虫植物フラッシュカード @4,200×2セット=8,400円 時計フラッシュカード @2,500×2セット=5,000円 立体图形フラッシュカード @1,500×2セット=3,000円 割合フラッシュカード @3,000×2セット=6,000円 ・百人一首の購入 11-1 五色百人一首 @1,100×20セット×4学年=88,000円</p>		
合計 395,720円		
期待される効果 ①基礎学力アップを図る復習中心のドリル学習を実施することで、家庭での学習習慣を定着させる。 ②西淀川区役所が実施する「にーよん漢字道場」による国語力の底上げに並行して、日々の学習の中で、「話すこと・聞くこと」のスキルアップを図る音読教材を活用し、国語力を向上させる。また、百人一首を教材として活用することで、楽しみながら古典や国語に興味・関心を持てるようとする。 ③「フラッシュカード」を使用することで、基礎学力の定着や暗記力を向上させ、脳の活性化を図る。		

### (2)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き	取り組み	取り組み(ドリルの答え合わせと復習)・授業での活用・百人一首大会						
効果検証			単元テスト		経年調査	取組実施後テスト			

### (3)取組内容に対する中間報告 **\*中間報告時に記載**

- スケジュールどおり実施できている。
- スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
- スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)

[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4)取組内容に対する決算内訳

決算内訳

**※決算報告時に記載**

※取組内容はPCDAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。